

平成 30 年度第 1 回 利用者懇談会「つながる図書館」 報告

開催日時 2018.6.3 (日) 10:00~12:00 中央図書館多目的室

参加者 利用者 12 名

今年度3回予定されている利用者懇談会。第1回は、「つながる図書館」をテーマに講演と懇談会を行いました。

第一部では、まず鎌倉市中央図書館長・青木達哉より、現在策定中の第3次図書館サービス計画と鎌倉市図書館ビジョン案についてご説明いたしました。

続いて、関東学院大学社会学部図書館司書課程の准教授・千 錫烈（せん すずれつ）氏をお招きして、「情報をつなげる、とどける～図書館の役割～」をテーマにご講演いただきました。

図書館の定義・目的、図書館に期待されている役割などの基本的なことから、「参加」「共有（シェアリング）」がキーワードとなる新しい図書館サービス、変化する図書館サービスの今後の展望など、東北地方で東日本大震災復興にたずさわられた先生ご自身の体験談や、国内外のさまざまな事例の紹介を交えてのお話でした。



第二部では、3グループに分かれ、「つながる」をテーマにディスカッションを行ないました。

自分のアイディアを付箋に書き、グループ内で発表しながら、図書館で実現ができそうなサービスか、また図書館

にとって必要なサービスかをグループ内で話し合いながら、模造紙上のマトリクスに落としこんでいきます。

テーマ 1「図書館を通じて情報とつながるには？」では、「わかりやすい表示」「さがしやすい本棚」「学べるスペースの確保」や、「市民・活動団体の発信・交流の場の提供」「開館時間の延長」など、図書館として早めに取り組みそうな項目から、施設整備を含め長期的な取り組みが必要な項目まで幅広いご意見をいただきました。

続いてテーマ 2「図書館を利用しにくい人が図書館とつながるには？」でも、「移動図書館」や「宅配サービス」、「バリアフリー化された施設」、「多言語対応」による利用しにくい方が図書館にこられるようにする工夫が上げられました。



今回の懇談会でいただいた意見の中で、早期に実現がしやすく、必要性和高いと考えられる項目を、第3次図書館サービス計画に優先的に盛り込んでいきたいと考えています。